



Japan Meteorological Agency

# 気象庁 東京管区気象台

Tokyo Regional Headquarters, JMA



気象庁マスコットキャラクター  
「はれるん」

～ 守ります 人と 自然と この地球 ～

東京管区気象台は気象庁の管区機関の1つで、関東甲信越・東海・北陸（1都16県）を管轄しています。気象庁は、大雨や暴風、地震と津波、火山噴火などの自然現象を常時監視するとともに、気象、地震、津波、火山活動などに関する情報を発表しています。気象庁が発表する情報は、自然災害から国民の生命・財産を守るための防災気象情報のほか、交通の安全を支援する交通安全情報、農業、電力、観光など各種産業活動を支援する産業情報、国民の日常生活に役立つ生活情報、さらには人類の将来に警鐘を鳴らす地球温暖化など地球環境に関する情報などがあり、多方面で多様な役割を果たしています。

## 勤務地・転勤・昇任

管轄内の地方気象台および航空地方気象台に配属になることが多いです。転勤は、2～3年毎に実施され、主に管内異動となりますが、本庁(東京)や全国の気象官署に転勤することもあります。昇進については、本人の能力と経験に応じて、係長・予報官・課長等に昇進していきます。なお、事務系採用の場合、管区気象台が気象庁本庁での採用となります。

## 採用区分

国家一般職（大卒程度）

物理、電気・電子・情報、化学、行政

## 職員数

約 770 名（技官：約 680 名、事務官約 90 名）

## 問合せ先

東京管区気象台 総務部総務課人事係

〒204-8501 東京都清瀬市中清戸 3-235

Tel 042-497-7183

HP <http://www.jma-net.go.jp/tokyo/>



## 先輩職員からのメッセージ



静岡地方気象台に配属となりました。現在は、観測業務や、天気予報を作る予報官の補助的な業務などを行っています。気象庁は気象のみならず、海洋や地震火山等の様々な自然を対象とした業務があります。自然現象が相手の仕事なので、突発的な業務も多々ありますが、発表した防災情報が国民の役に立っていることを実感できた時には大きなやりがいを感じます。自然や防災に興味のある皆さん、ぜひ一緒に気象庁で働いてみませんか。（平成30年度採用/技官（物理））

銚子地方気象台で地域防災を担当しています。市町村や住民に向けて防災に関する支援や普及啓発を行っています。気象台が提供する情報が、住民を避難させる判断などに活用されていることを市町村から伺うと、支援や普及啓発の大切さが実感できます。また学生時代に地震の研究をしていたことから、地震・津波被害の特徴を地域ごとに調査しており、更なる地域防災支援や普及啓発に努めています。新しい経験を日々積める環境、これまでに培った経験を活かせる環境でもあり、やりがいのある仕事だと思います。（平成31年度採用/技官（物理））

